



- 輪島塗の創造的復興に向けた官・民・産地共同プロジェクトは、これまでのワーキンググループで「輪島塗の若手人材の養成施設の創設」、「卒業生の雇用の促進」といった方向性が示された。
→ワーキンググループ：石川県、輪島市、経済産業省、輪島漆器商工業協同組合など輪島塗関係者、北國新聞社、読売新聞社、日本政策投資銀行
- 具体の検討を進めるため、基本構想策定委員会を立ち上げ、施設の整備主体や規模、運営方法等を基本構想として取りまとめる。

委員（10名）

※敬称略・五十音順

伝統産業振興室
076(225)1526

青柳 正規（石川県立美術館長）	坂口 茂（輪島市長）
太田 充（日本政策投資銀行代表取締役会長）	馳 浩（石川県知事）
菊川 人吾（経済産業省イノベーション・環境局長）	日南 尚之（輪島漆器商工業協同組合理事長）
小中 寿一郎（北國新聞社代表取締役社長）	森田 正信（文化庁次長）
小森 邦衛（輪島漆芸技術研修所長）	山口 寿一（読売新聞グループ本社代表取締役社長）

今後の予定

- ・ 4月10日(木) 第1回基本構想策定委員会の開催
- ・ 令和7年度内 基本構想を策定

ところ：輪島漆芸美術館
議題：①伝統的工芸品産業の現状
②プロジェクトの目的・方向性等
③養成施設の整備や運営主体等

➡プロジェクトが能登の復興の象徴となるよう、官・民・産地が連携し、着実に推進

能登復興応援基金を活用した「能登復興支援事業」

- 能登の未来を創る先導的な取り組みを複数年にわたって支援
助成期間：原則3年以内
助成額：原則1億円以内

- 先月末まで公募を実施し、県内外から **253件の応募**
 - 農林漁業の再興や、伝統文化・伝統工芸の活性化、子どもの居場所づくりなど、多様なプロジェクトが応募
- 今後、外部有識者等による審査を経て、順次、採択を決定

ロックユニット「COMPLEX」



今後のスケジュール (予定)

基本事業計画の審査

基本事業計画が
認められた事業のみ

詳細事業計画の審査

採択案件

事業着手

基本事業計画
応募締切
3/31

基本事業計画
の審査
4月中

基本事業計画
の採否を通知
4月下旬頃

詳細事業計画
の作成・提出

詳細事業計画
の審査

採 択

早いもので
夏頃から

詳細事業計画の提出時期は、基本事業計画の審査通過者と別途調整。提出のあったものから審査を実施し、順次採択を決定

石川県立あすなる中学校（夜間中学）の開校



様々な事情で義務教育を修了できなかった方や、不登校などにより十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した方、日本の義務教育を受けることを希望する外国籍の方など、様々な方に教育の機会を確保するため、**北陸初の県立夜間中学「石川県立あすなる中学校」が開校**

○施設概要

- ・ 所在地：石川県立金沢中央高等学校内（金沢市泉本町6丁目105）
- ・ 普通教室や特別教室、音楽や家庭などの授業で利用する多目的教室のほか、入学する生徒が過ごしやすい校舎となるよう、生徒の交流スペースも設置
- ・ エレベーターやスロープを設置し、バリアフリーに配慮



普通教室



多目的教室



交流スペース

学校指導課
076(225)1826

石川県立あすなろ中学校（夜間中学）の開校



学校指導課
076(225)1826

○教育内容

- ・ 生徒一人ひとりの事情を踏まえ、生徒の習熟度に合わせて3つのコースと外国籍の方などを対象に日本語の習得に重点を置いたコースを設定
- ・ 通常の中学校と同じ教科に加え、災害への備えなどを学ぶ防災学習や石川の歴史や文化を調べる学習、文化祭や遠足などの行事、金沢中央高等学校との交流を検討

○入学予定者数

22名（1年生：6名、2年生：6名、3年生：10名）

○開校式等日程

- ・ 日 時：令和7年4月7日（月）
（校名板除幕式：18時～、開校式：18時15分～、入学式：18時50分～）
- ・ 会 場：石川県立金沢中央高等学校2階 第一体育館（金沢市泉本町6丁目105）
※校名板の除幕式は、あすなろ中学校玄関前で実施

⇒生徒一人ひとりの状況に応じた学びを支援

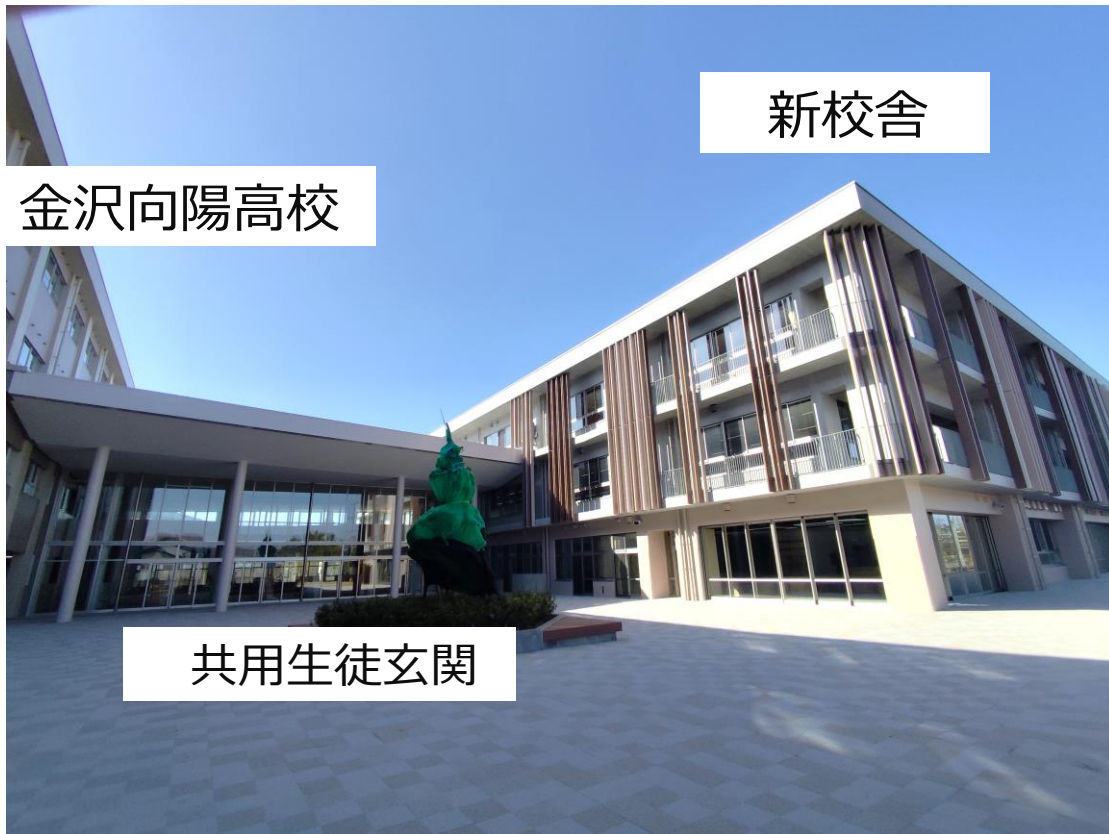
いしかわ特別支援学校 知的障害教育部門高等部 新校舎



教育政策課
076(225)1813

- ・金沢向陽高校の敷地内に建設、本年2月に建物が完成（総事業費:約73億円）
- ・いしかわ特別支援学校と金沢向陽高校の生徒が日常的に交流できるよう工夫

所在地：金沢市大場町東590番地



※建物内で両校を行き来できる



共用生徒玄関



地域交流スペース



金沢向陽高校の生徒も
利用できる広い食堂

＜今後のスケジュール＞
4/5 関係者向けの内見
4/8 入学式・始業式
秋頃 新校舎完成記念式典

※グラウンド等の整備完了後

○いしかわ特別支援学校と金沢向陽高校では、両校の生徒が日常的に交流を行う、全国のモデルとなるインクルーシブ教育の実現を目指し、新校舎の完成前から、**両校と県教委からなるプロジェクトチーム**において検討を行い、**試行を重ねてきた。**

＜主な事例＞

- ・体育や家庭等の合同授業
- ・サッカー部の合同練習
- ・森本駅前イベントでの共同出店



体育の合同授業



サッカー部の合同練習



森本駅前イベント

●開校後（令和7年度）日常的な交流の実施

- ・新校舎の設え
⇒ 生徒玄関を両校で共用、特支の食堂を向陽高校の生徒も利用できるよう配置
- ・授業等における交流
⇒ 体育、家庭、音楽、美術などの授業の一部や、部活動の練習の合同実施、特支の清掃等の実習を向陽高校校舎で実施
- ・地域との交流
⇒ 地域交流スペースを設け、特別支援学校生徒がカフェを運営するほか、地域の方々にも利用いただくなど交流を促進



高校・特支の交流スペース



地域交流スペース